

3 東播磨をバリアフリー先進地域にしよう！

【き】 県民行動プログラムの実践活動しよう！

平成14年春、東播磨地域ビジョン委員会で策定した、県民行動プログラムの中の重点行動プランとして、バリアフリー基準づくりに取り組もうと委員有志が立ち上がりました。

【概】 バリアフリー情報を1つの冊子に！

平成14年度は、車椅子利用者や視覚障害者らの参加を得て、当事者の立場でバリアを検証する活動に取り組みました。

今年度は、昨年度の経験から学んだ当事者の視点を反映しながら、海岸沿いを走っている山陽電鉄の主要駅を中心にバリアフリー情報を収集し、サポート冊子をまとめました。

【成】 冊子は完成！ 今後はそれをどう生かすかです

集めたバリアフリー情報をいかに分かりやすく伝えるかをみんなで話し合いながら、カラー版28ページにまとめました。当事者の方はもちろん、彼らをサポートする人たちへの普及・啓発が重要と考えています。県民局のまちづくり担当も我々の活動に積極的に協力していただいております。ビジョン委員会としての活動は、今後とも継続して展開していきたいと考えています。



シンボル旗を持って



障害者の皆さんと海岸散歩

【夢】 東播磨をバリアフリー先進地域に！

今回のマップづくりを皮切りに、誰もが安心して安全に外出できるように役立つさまざまな道具をこれからもつくっていききたいと考えています。また、関係団体やグループとのつながりをさらに広げていって、みんなで東播磨をバリアフリーの先進地域にしていきたいと考えています。

バリアフリー 東播磨基準づくりグループ

代表者氏名：福原隆泰
活動地域：東播磨3市2町(明石・加古川・高砂・稲美・播磨)
事務所等：加古川市加古川町寺家町天神97-1
電話番号：0794-21-9264
FAX番号：078-21-6616
ホームページ：<http://web.pref.hyogo.jp/higashiharima/index.html>

とも
に
取
り
組
んだ
団
体
等

NPO障害者自立センター

外出支援事業や市民ネットワーク活動で実績がある団体で、メンバーの一人がこの会員だったので、協力しました。

日本網膜色素変性症協会

車イスだけでなく、視覚障害を持つ当事者の団体とバリアの検証を行いたいと思い、協力していただきました。

活用した支援

補助金（兵庫県）



当事者を巻き込んでいるのがポイントです

たとえば、点字ブロックはその上を歩く人だけでなく、そこにつえを当てながらその横を歩かれる方もいます。このような、当事者でなければ気づかないたくさんのバリアをともに検証したことにより、先入観を排除し、当事者の視点でマップをつくることができました。



先方にとっても良い取り組みであることを説明

東播磨地域は、加古川やため池をはじめ、水関係での豊かな地域資源を持っていますが、兵庫県下の中では最も観光客が少ない地域だそうです。海岸沿いの豊かな地域資源を有効に活用するためにも、海岸沿いを走っている山陽電鉄のバリアフリーは重要だと考え、地域で5,000人以上の利用客がある8つの駅を検証することにしました。

駅で検証するに当たっては、山陽電鉄の営業所長さんに当たって砕けろで電話をかけました。バリアフリーの検証ですから、施設の欠陥ばかりを書かれるのでは、と最初は警戒されましたが、「もっとたくさんの人に、海岸沿いの山陽電鉄を使っただくために、お手伝いをしたい。そのためのバリアフリー検証なのです」という自分たちの目的を丁寧に粘り強く語り、説得しました。今では、分からないことがあればメールで答えてくれるなど、良い関係を築けています。

求ム!

「当事者の声を発信する」お手伝いをするため、そしてより多くの方にバリアを体感してもらうためには、まだまだネットワークは不十分です。スタッフや参加者の募集はもとより、当事者の方々とネットワークしたいと考えています。ぜひ一緒に!



西二見駅での見学会

読者の皆さんへのメッセージ

我々は「一歩前へ出る勇気を持って!」を身上にしています。どうぞ、私たちと一緒に、一歩前へ踏み出して、バリアフリーの先進地域にしていくために活動しませんか。協働・パートナーシップ・ネットワークが、これからの民主主義の礎になるはずです。自助互助の精神で、ぜひ一緒に!